



世界と話そう。渋谷で。

1996年の創立以来、進学実績をはじめ、目覚ましい活躍を続ける渋谷教育学園渋谷。『自調自考』『国際人』『高い倫理感』という三つのスクールモットーの下、国際教育に力を注いでおり、今年、文部科学省の教育事業であるスーパーグローバルハイスクール(SGH)の指定校に全国の中から選ばれた。「日本人は本質的にはグローバルな視点を持っています」(高際伊都子副校長)その言葉には確固たる信念が宿っている。





柔道部は毎年数々の大会で優勝するなど、全国区の強さを誇る



DANG CONG SAN VIET NAM QUANG VINH



高際伊都子副校長 ニューヨークで開催された第15回高校模擬国連国際大会で同校生徒が優秀賞を受賞



ベトナム研修 他にもアメリカ・イギリス・シンガポール・オーストラリアなどが研修先にあり、高2の修学旅行では中国の現地学校を訪問する



あらゆる「今」に向き合う強さ  
「夏の特別講座に集团的自衛権を盛り込んだのは、外交について考える機会になればと思います。日本は島国ですので、外国に行くには海を越えていくこととなります。歩いて隣国に行ける国と比べると外国との距離感が違いがあります。ちょうどSGHのテーマが「平和と人権」なので、安全保障を軸に外交についているような視点からアプローチしてみよう」と。高際伊都子副校長の口から語られたのは、まさに今を代表する問題についてだった。しかし大上段に構えず、普段から生徒の耳に入る話題だからと採用した。  
波澄は創立当初より国際教育に力を入れており、その根幹は「自調自考」、つまり「自らの手で調べ、自らの頭で考える」にある。そうした校風から生徒たちの意見もそれぞれにあるという。それが普通だと思っんです。外交の問題ひとつとっても万人に正しい答えはないし、教師が断じるものでもない。でもこういう話題にはいつか直面するので、その時に自分の主張がちゃんと言えるようになってもらいたい。こうした思いは通常の授業にも組み込まれている。例えば社会科では、歴史を時系列ではなく人間の営みとして多様な角度から捉える授業を行っており、生徒たちも新聞を読んだりニュースを視聴するなど、事前学習を習慣づけ、幅広い視点を持つことを意識している。学習する上で徹底しているのが、「良いか悪いか」を言わないこと。何が問題で議論しているのかを知ることが生徒たちにとって一番大切なことだからだ。こうした学びの姿勢は現代の変化の激しい社会に対応する。「昨今グローバル



これだけでも多彩な取り組みの数々だが、一方で生徒からの企画も多い。昨年は有志生徒が東北の被災地の子どもたちに移動ポケットを送るプロジェクトを発足。350個を手作りし、現地小学校から感謝の言葉が届いた。また2年連続で、ユニーク口が実施する「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加。ボランティア部が主体となって、子供服の回収、発送を行っている。「NPO(国連難民高等弁務官事務所)を通じて難民キャンプへ送るのですが、現状をみんなに報告するように言っています。何のため、誰のため、どうしてなのかをきちんと伝えること。また善意を頂くのだから、その善意がどうなったかの報告する、そこまでがボランティアだからね」と(高際副校長)  
こうした忙しくも充実した日々は、彼らのその後にとってかけがえのない財産になっている。波澄での経験から、留学や起業の選択肢を選ぶ生徒も多いという。またある卒業生は、「旅行に行くなら、やっぱり中高時代の友達と一緒に出かけたい」と語る。同じ経験を重ね、家族のように気が置けないからこそ出てくる言葉だ。仲間と共に大きく成長できる場所。人生の原動力がここにある。

自らの手で、自らの頭で、仲間と共に。

ルが一つの大きなキーワードになっていますが、単に「だから英語」ということではなく、多様なものの考え方が集まる社会の中で活躍できるよう意識することが大事だと思っています。その一環として、高校1年生は毎年10月に広島研修に出かける。広島について世界・日本がどう考えているのか、終わった話ではなく現在進行形の課題として向き合う。加えて模擬国連にも積極的に参加しており、核兵器・核エネルギーに対する他国の生徒の認識を知る機会も多い。日本では発展しづらい議論を深めることで、将来に活きる視野の拡充を図っている。またユネスコスクールに加盟している同校では、国際的に活躍する人々から生の声を聴く機会にも恵まれている。視野を広げるだけでなく、発表の場が多いのも波澄の特長だ。6月にはシンガポール屈指の名門校である Raffles Institution が主催した高校生会議に日本代表として参加。テーマである水資源について世界各国の高校生がプレゼンする中、高校3年生チームは銀メダルを、高校2年生は銅メダルを受賞した。

